

平成23年2月

神保太樹 学位論文審査要旨

主 査 中 込 和 幸
副主査 深 田 美 香
同 浦 上 克 哉

主論文

Effect of aromatherapy on patients with Alzheimer's disease

(アルツハイマー病患者におけるアロマセラピーの効果の検討)

(著者：神保太樹、木村有希、谷口美也子、井上仁、浦上克哉)

平成21年 Psychogeriatrics 9巻 173頁～179頁

参考論文

1. 認知症への非薬物療法（アロマセラピー）

(著者：神保太樹、浦上克哉)

平成21年 老年精神医学雑誌 9巻 1365頁～1372頁

2. 高度アルツハイマー病患者に対するアロマセラピーの有用性

(著者：神保太樹、浦上克哉)

平成20年 日本アロマセラピー学会誌 7巻 43頁～48頁

審 査 結 果 の 要 旨

本研究は精油と呼ばれる植物の芳香成分抽出物によって嗅覚を刺激する手法であるアロマセラピーを用いて、アルツハイマー病患者17人を含む、認知症患者28人に対してアロマセラピーの治療効果を、特に認知機能障害の改善効果という観点から検討したものである。介入の結果として、各種の評価尺度を用いて、認知症患者の認知機能障害が、アロマセラピーによって改善されることが認められた。特にアルツハイマー病患者においてこの傾向は顕著であり、アルツハイマー病の治療における有用性が示唆された。本論文の内容は、非薬物療法による認知症の治療について、アロマセラピーによる非侵襲的で簡便な治療の有用性を示唆するものであり、明らかに学術水準を高めたものと認める。